

授 業 科 目	特別学修（測量士試験）		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	特別学修選択・4単位
受 講 年 科 ・ 学 期	環境都市工学科1～5年・通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	測量，空間情報		
関 連 科 目	測量学Ⅰ～Ⅳ，測量実習A～C，空間情報工学など		
担 当 教 員	島崎彦人		
連絡先(オフィス・アワー)	shimazaki@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない．いつでも来室可）		
教 科 書			
補 助 教 科 書 等			
参 考 図 書			
プログラム目標			
達 成 目 標（合 格 点）		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
・ 測量士試験について，計画的に自学自習に取り組み，試験に合格する．		担当教員が指定した学習計画書および学修報告書を提出し，測量士試験に合格した者について，評定「A」を認定する（100％）．	
履 修 上 の 注 意	・ 担当教員の指示・指導を受け，学修計画書を作成すること． ・ 測量士試験が実施されるまでに，指定された時間数の自学自習に計画的に取り組むこと． ・ 担当教員の指示・指導を受け，学修報告書を作成すること． ・ 単位数×30時間以上の自学自習が必要である．		
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・ 自学自習		・ 担当教員の指示 ・ 指導を受けて，学修計画書を作成する．	
		・ 測量士試験について，指定された時間数の自学自習に取り組み，自ら試験に申し込み受験する．	
		・ 担当教員の指示・指導を受けて，学修報告書を作成する．	
成績の算出方法	担当教員が指定した学習計画書および学修報告書を提出し，測量士試験に合格した者について，評定「A」を認定する（100％）．		

授 業 科 目	特別学修（測量士補試験）		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	特別学修選択・2単位
受 講 年 科 ・ 学 期	環境都市工学科1～5年・通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	測量，空間情報		
関 連 科 目	測量学Ⅰ～Ⅳ，測量実習A～C，空間情報工学など		
担 当 教 員	島崎彦人		
連絡先(オフィス・アワー)	shimazaki@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない．いつでも来室可）		
教 科 書			
補 助 教 科 書 等			
参 考 図 書			
プ ロ グ ラ ム 目 標			
達 成 目 標（合 格 点）		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
・ 測量士補試験について，計画的に自学自習に取り組み，試験に合格する．		担当教員が指定した学習計画書および学修報告書を提出し，測量士補試験に合格した者について，評定「A」を認定する（100％）．	
履 修 上 の 注 意	・ 担当教員の指示・指導を受け，学修計画書を作成すること． ・ 測量士補試験が実施されるまでに，指定された時間数の自学自習に計画的に取り組むこと． ・ 担当教員の指示・指導を受け，学修報告書を作成すること． ・ 単位数×30時間以上の自学自習が必要である．		
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・ 自学自習		・ 担当教員の指示・指導を受けて，学修計画書を作成する． ・ 測量士補試験について，指定された時間数の自学自習に取り組み，自ら試験に申し込み受験する． ・ 担当教員の指示・指導を受けて，学修報告書を作成する．	
合計授業時間数(定期試験は除く)			
成績の算出方法	担当教員が指定した学習計画書および学修報告書を提出し，測量士補試験に合格した者について，評定「A」を認定する（100％）．		

授 業 科 目	特別学修（基礎製図検定試験）		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	特別学修選択・1単位
受 講 年 科 ・ 学 期	環境都市工学科1～5年・通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	製図，測量，空間情報		
関 連 科 目	技術者入門Ⅰ～Ⅱ，測量学Ⅰ～Ⅳ，測量実習A～C，空間情報工学など		
担 当 教 員	島崎彦人		
連絡先(オフィス・アワー)	shimazaki@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない．いつでも来室可）		
教 科 書			
補 助 教 科 書 等			
参 考 図 書			
プログラム目標			
達 成 目 標（合 格 点）		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
・ 基礎製図検定試験について，計画的に自学自習に取り組み，試験に合格する．		担当教員が指定した学習計画書および学修報告書を提出し，基礎製図検定試験に合格した者について，評定「A」を認定する（100％）．	
履 修 上 の 注 意	・ 担当教員の指示・指導を受け，学修計画書を作成すること． ・ 基礎製図検定試験が実施されるまでに，指定された時間数の自学自習に計画的に取り組むこと． ・ 担当教員の指示・指導を受け，学修報告書を作成すること． ・ 単位数×30時間以上の自学自習が必要である．		
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・ 自学自習		・ 担当教員の指示・指導を受けて，学修計画書を作成する． ・ 基礎製図検定試験について，指定された時間数の自学自習に取り組み，試験を受験する． ・ 担当教員の指示・指導を受けて，学修報告書を作成する．	
成績の算出方法	担当教員が指定した学習計画書および学修報告書を提出し，基礎製図検定試験に合格した者について，評定「A」を認定する（100％）．		

授 業 科 目	特別学修（情報検定情報システム基本スキル）		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	選択・1単位
受 講 年 科 ・ 学 期	環境都市工学科1～5年・通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	情報,		
関 連 科 目	情報処理入門, プログラム演習など		
担 当 教 員	原田健二		
連絡先(オフィス・アワー)	harada@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない, いつでも来室可）		
教 科 書			
補 助 教 科 書 等			
参 考 図 書			
プ ロ グ ラ ム 目 標			
達 成 目 標（合 格 点）		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
・ 情報検定 (J検) 情報システム試験基本スキルについて計画的に自学自習に取り組み, 試験に合格する		合格したものについて, 評定「A」を認定する (100%)	
履 修 上 の 注 意	・ 担当教員の指示・指導を受け, 学修計画書を作成すること ・ 試験が実施されるまで, 指定された時間数の自学自習を計画的に取り組むこと. ・ 単位数×30時間以上の自学自習が必要である.		
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・ 学修計画の作成		・ 担当教員の指示 ・ 指導を受け学修計画書を作成する	
・ 自学自習		・ 情報検定 (J検) 情報システム試験基本スキルについて指定された時間数の自学自習を行い, 自ら試験に申し込みし受験する.	
・ まとめ		・ まとめ	
成績の算出方法	各種試験・検定に合格したものについて, 評定「A」を認定する (100%)		

授 業 科 目	特別学修（情報検定情報システムプログラミングスキル）		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	選択・1単位
受 講 年 科 ・ 学 期	環境都市工学科1～5年・通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	情報,		
関 連 科 目	情報処理入門，プログラム演習など		
担 当 教 員	原田健二		
連絡先(オフィス・アワー)	harada@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない，いつでも来室可）		
教 科 書			
補 助 教 科 書 等			
参 考 図 書			
プログラム目標			
達 成 目 標 （ 合 格 点）		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
・ 情報検定 (J検) 情報システム試験プログラミングスキルについて計画的に自学自習に取り組み，試験に合格する		合格したものについて，評定「A」を認定する (100%)	
履 修 上 の 注 意	・ 担当教員の指示・指導を受け，学修計画書を作成すること ・ 試験が実施されるまで，指定された時間数の自学自習を計画的に取り組むこと． ・ 単位数×30時間以上の自学自習が必要である．		
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・ 学修計画の作成		・ 担当教員の指示・指導を受け学修計画書を作成する	
・ 自学自習		・ 情報検定 (J検) 情報システム試験プログラミングスキルについて指定された時間数の自学自習を行い，自ら試験に申し込みし受験する．	
・ まとめ		・ まとめ	
成績の算出方法	各種試験・検定に合格したものについて，評定「A」を認定する (100%)		

授 業 科 目	特別学修（情報検定情報システムデザインスキル）		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	選択・1単位
受 講 年 科 ・ 学 期	環境都市工学科1～5年・通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	情報,		
関 連 科 目	情報処理入門, プログラム演習など		
担 当 教 員	原田健二		
連絡先(オフィス・アワー)	harada@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない, いつでも来室可）		
教 科 書			
補 助 教 科 書 等			
参 考 図 書			
プログラム目標			
達 成 目 標（合 格 点）		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
・ 情報検定 (J検) 情報システム試験デザインスキルについて計画的に自学自習に取り組み, 試験に合格する		合格したものについて, 評定「A」を認定する (100%)	
履 修 上 の 注 意	・ 担当教員の指示・指導を受け, 学修計画書を作成すること ・ 試験が実施されるまで, 指定された時間数の自学自習を計画的に取り組むこと. ・ 単位数×30時間以上の自学自習が必要である.		
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・ 学修計画の作成		・ 担当教員の指示・指導を受け学修計画書を作成する	
・ 自学自習		・ 情報検定 (J検) 情報システム試験デザインスキルについて指定された時間数の自学自習を行い, 自ら試験に申し込みし受験する.	
・ まとめ		・ まとめ	
成績の算出方法	各種試験・検定に合格したものについて, 評定「A」を認定する (100%)		

授 業 科 目	特別学修（情報検定：情報デザイン初級）		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	選択・1単位
受 講 年 科 ・ 学 期	環境都市工学科1～5年・通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	情報,		
関 連 科 目	情報処理入門, プログラム演習など		
担 当 教 員	原田健二		
連絡先(オフィス・アワー)	harada@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない, いつでも来室可）		
教 科 書			
補 助 教 科 書 等			
参 考 図 書			
プログラム目標			
達 成 目 標（合 格 点）		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
・ 情報検定 (J検) 情報デザイン試験初級について計画的に 自学自習に取り組み, 試験に合格する		合格したものについて, 評定「A」を認定する (100%)	
履 修 上 の 注 意	・ 担当教員の指示・指導を受け, 学修計画書を作成すること ・ 試験が実施されるまで, 指定された時間数の自学自習を計画的に取り組むこと. ・ 単位数×30時間以上の自学自習が必要である.		
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・ 学修計画の作成		・ 担当教員の指示 ・ 指導を受け学修計画書を作成する	
・ 自学自習		・ 情報検定 (J検) 情報デザイン試験初級について指定された時間数の 自学自習を行い, 自ら試験に申し込みし受験する.	
・ まとめ		・ まとめ	
成績の 算出方法	各種試験・検定に合格したものについて, 評定「A」を認定する (100%)		

授 業 科 目	特別学修（情報検定：情報デザイン上級）		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	選択・1単位
受 講 年 科 ・ 学 期	環境都市工学科1～5年・通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	情報,		
関 連 科 目	情報処理入門, プログラム演習など		
担 当 教 員	原田健二		
連絡先(オフィス・アワー)	harada@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない, いつでも来室可）		
教 科 書			
補 助 教 科 書 等			
参 考 図 書			
プログラム目標			
達 成 目 標（合 格 点）		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
・ 情報検定 (J検) 情報デザイン試験上級について計画的に 自学自習に取り組み, 試験に合格する		合格したものについて, 評定「A」を認定する (100%)	
履 修 上 の 注 意	・ 担当教員の指示・指導を受け, 学修計画書を作成すること ・ 試験が実施されるまで, 指定された時間数の自学自習を計画的に取り組むこと. ・ 単位数×30時間以上の自学自習が必要である.		
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・ 学修計画の作成		・ 担当教員の指示・指導を受け学修計画書を作成する	
・ 自学自習		・ 情報検定 (J検) 情報デザイン試験上級について指定された時間数の 自学自習を行い, 自ら試験に申し込みし受験する.	
・ まとめ		・ まとめ	
成績の 算出方法	各種試験・検定に合格したものについて, 評定「A」を認定する (100%)		

授 業 科 目	特別学修（2級ビオトープ計画管理士試験）		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	特別学修選択・1単位
受 講 年 科 ・ 学 期	1～5年通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	ビオトープ, 生態学, 保全生態学, 環境関連法, 都市・農村・地域計画		
関 連 科 目	ライフサイエンス・アースサイエンス, 水域システム工学, 生態環境工学		
担 当 教 員	湯谷 賢太郎		
連絡先(オフィス・アワー)	yutani@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない. いつでも来室可）		
教 科 書	日本生態系協会（監修）『【改訂版】ビオトープ管理士資格試験 公式テキストー2級ビオトープ計画管理士・施工管理士対応』日本能率協会マネジメントセンター, 2018年, 3,080円.		
補 助 教 科 書 等	各自で考えて選択すること		
参 考 図 書	自分で判断して選択することが望ましいが, 学習の助けとなる参考書を幾つか列挙します. 情報が古い本も含まれていますが, 当該分野の考え方を理解するには十分です. 【総合的な学修向け】 ・日本生態系協会『環境を守る最新知識（第2版）』信山社サイテック, 2006年, 2,310円 【生態学の学修向け】 ・三島次郎『トマトはなぜ赤い』東洋館出版社, 1992年, 2,563円 ・日本生態学会（第2版）『生態学入門』東京化学同人, 2012年, 3,080円 ・E. P. オダム『基礎生態学』培風館, 1991年, 5060円 【ビオトープ論の学修向け】 ・ヨーゼフ・ブラープ『ビオトープの基礎知識』日本生態系協会, 1997年, 1540円 ・小杉山晃一『ビオトープブック』学報社, 2009年, 2100円 【環境関連法の学修向け】 ・阿部泰隆, 淡路剛久『環境法 第4版』有斐閣ブックス, 2011年, 3,520円 ・木呂子豊彦, 小杉山晃一『ビオトープブック 2』学報社, 2010年, 2,200円 【ビオトープ計画に関する学修向け】 ・新里達也, 佐藤正孝『野生生物保全技術 第2版』海游舎, 2007年, 5,060円 ・鷲谷いづみ, 矢原徹一『保全生態学入門』文一総合出版, 1996年, 3,300円		
プログラム目標	関連無し		
達 成 目 標（合 格 点）		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
・2級ビオトープ計画管理士試験について, 学修計画にそって学修し, 2級ビオトープ計画管理士試験に合格する.		2級ビオトープ計画管理士試験に合格した者について, 評定「A」を認定する (100%).	
履 修 上 の 注 意	・学修計画を作成し, 担当教員の指示・指導を受けること. ・2級ビオトープ計画管理士試験が実施されるまでに計画的に指定された時間数の自学自習をすること. ・30時間以上の自学自習が必要である. ・例年, 試験の申し込みは6～9月, 合格発表が2月末である. 受験年度の単位認定が間に合わない場合は翌年度の認定となるので注意すること.		
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・学修計画の作成		担当教員の指示・指導を受け学修計画を作成する.	
・自学自習		2級ビオトープ計画管理士試験について, 指定された時間数の自学自習を行う.	
・まとめ		まとめ	
成績の算出方法	2級ビオトープ計画管理士試験に合格した者について, 評定「A」を認定する (100%).		

授 業 科 目	特別学修（2級ビオトープ施工管理士試験）		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	特別学修選択・1単位
受 講 年 科 ・ 学 期	1～5年通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	ビオトープ, 生態学, 保全生態学, 環境関連法, 土木・造園（河川, 海岸, 海岸, 里山, 等）		
関 連 科 目	ライセンス・アセスメント, 水域システム工学, 生態環境工学		
担 当 教 員	湯谷 賢太郎		
連絡先(オフィス・アワー)	yutani@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない。いつでも来室可）		
教 科 書	日本生態系協会（監修）『【改訂版】ビオトープ管理士資格試験 公式テキストー2級ビオトープ計画管理士・施工管理士対応』日本能率協会マネジメントセンター, 2018年, 3,080円。		
補 助 教 科 書 等	各自で考えて選択すること		
参 考 図 書	自分で判断して選択することが望ましいが, 学習の助けとなる参考書を幾つか列挙します。情報が古い本も含まれていますが, 当該分野の考え方を理解するには十分です。 【総合的な学修向け】 ・日本生態系協会『環境を守る最新知識（第2版）』信山社サイテック, 2006年, 2,310円 【生態学の学修向け】 ・三島次郎『トマトはなぜ赤い』東洋館出版社, 1992年, 2,563円 ・日本生態学会（第2版）『生態学入門』東京化学同人, 2012年, 3,080円 ・E. P. オダム『基礎生態学』培風館, 1991年, 5060円 【ビオトープ論の学修向け】 ・ヨーゼフ・ブラープ『ビオトープの基礎知識』日本生態系協会, 1997年, 1540円 ・小杉山晃一『ビオトープブック』学報社, 2009年, 2100円 【環境関連法の学修向け】 ・阿部泰隆, 淡路剛久『環境法 第4版』有斐閣ブックス, 2011年, 3,520円 ・木呂子豊彦, 小杉山晃一『ビオトープブック 2』学報社, 2010年, 2,200円 【ビオトープ施工に関する学修向け】 ・新里達也, 佐藤正孝『野生生物保全技術 第2版』海游舎, 2007年, 5,060円 ・養父志乃夫『ビオトープ再生技術入門』農文協, 2006年, 2,305円 ・養父志乃夫『自然生態修復工学入門』農文協, 2002年, 2,934円 ・井手久登, 亀山章『緑地生態学』朝倉書店, 1993年, 4,620円 ・玉井信行, 水野信彦, 中村俊六『河川生態環境工学』東京大学出版会, 1993年, 4,180円 ・岩崎哲也『都市の樹木433（ポケット図鑑）』2012年, 1,320円		
プ ロ グ ラ ム 目 標	関連無し		
達 成 目 標（合 格 点）		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
・2級ビオトープ施工管理士試験について, 学修計画にそって学修し, 2級ビオトープ施工管理士試験に合格する。		2級ビオトープ施工管理士試験に合格した者について, 評定「A」を認定する（100%）。	
履 修 上 の 注 意	・学修計画を作成し, 担当教員の指示・指導を受けること。 ・2級ビオトープ施工管理士試験が実施されるまでに計画的に指定された時間数の自学自習をすること。 ・30時間以上の自学自習が必要である。 ・例年, 試験の申し込みは6～9月, 合格発表が2月末である。受験年度の単位認定が間に合わない場合は翌年度の認定となるので注意すること。		
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・学修計画の作成		担当教員の指示・指導を受け学修計画を作成する。	
・自学自習		級ビオトープ施工管理士試験について, 指定された時間数の自学自習を行う。	
・まとめ		まとめ	
成績の算出方法	2級ビオトープ施工管理士試験に合格した者について, 評定「A」を認定する（100%）。		

授 業 科 目	公害防止管理者 1 種		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	選択・3単位
受 講 年 科 ・ 学 期	1～5 年通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	公害 水環境 排水処理		
関 連 科 目	水環境工学 上下水道工学		
担 当 教 員	上村繁樹		
連絡先(オフィス・アワー)	uemura@wangan. c. kisarazu. ac. jp (オフィスアワーは特に定めない. いつでも来室可)		
教 科 書	大学土木 水環境工学 (ISBN-13 : 978-4274215254)		
補 助 教 科 書 等	公害防止管理者試験 水質関係 攻略問題集 (ISBN-13 : 978-4873619972)		
参 考 図 書			
プログラム目標			
達 成 目 標 (合 格 点)		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
・ 公害防止管理者 1 種試験について, 学修計画にそって学修し, 公害防止管理者 1 種試験に合格する.		公害防止管理者 1 種試験に合格した者について, 評定「A」を認定する (100%).	
履 修 上 の 注 意		・ 学修計画を作成し, 窓口教員の指示・指導を受けること. ・ 公害防止管理者 1 種試験が実施されるまでに計画的に指定された時間数の自学自習をすること. ・ 単位数×30時間以上自学自習が必要である.	
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・ 学修計画の作成		・ 窓口教員の指示・指導を受け学修計画を作成する.	
・ 自学自習		・ 公害防止管理者 1 種について, 指定された時間数の自学自習を行う. (時間数は認定される単位数による.)	
・ まとめ		・ まとめ	
成績の算出方法	各種検定/資格試験に合格した者について, 評定「A」を認定する (100%)		

授 業 科 目	特別学修（公害防止管理者 2 種）		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	選択・1単位
受 講 年 科 ・ 学 期	1～5 年通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	公害 水環境 排水処理		
関 連 科 目	水環境工学 上下水道工学		
担 当 教 員	上村繁樹		
連絡先(オフィス・アワー)	uemura@wangan. c. kisarazu. ac. jp（オフィスアワーは特に定めない. いつでも来室可）		
教 科 書	大学土木 水環境工学（ISBN-13：978-4274215254）		
補 助 教 科 書 等	公害防止管理者試験 水質関係 攻略問題集（ISBN-13：978-4873619972）		
参 考 図 書			
プログラム目標			
達 成 目 標（合 格 点）		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
公害防止管理者 2 種について，学修計画にそって学習し 公害防止管理者 2 種試験に合格する.		公害防止管理者 2 種試験に合格した者について，評定 「A」を認定する（100%）.	
履 修 上 の 注 意		・学修計画を作成し，窓口教員の指示・指導を受けること。 ・公害防止管理者 2 種試験が実施されるまでに計画的に指定された時間数の自学自習をすること。 ・単位数×30時間以上自学自習が必要である。	
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・学修計画の作成		・窓・口教員の指示 ・指導を受け学修計画を作成する。	
・自学自習		・公害防止管理者 2 種試験について，指定された時間数の自学自習を行う。（時間数は認定される単位数による。）	
・まとめ		・まとめ	
成績の 算出方法	各種検定/資格試験に合格した者について，評定「A」を認定する（100%）		

授 業 科 目	特別学修（公害防止管理者 3 種）		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	選択・2単位
受 講 年 科 ・ 学 期	1～5 年通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	公害 水環境 排水処理		
関 連 科 目	水環境工学 上下水道工学		
担 当 教 員	上村繁樹		
連絡先(オフィス・アワー)	uemura@wangan. c. kisarazu. ac. jp（オフィスアワーは特に定めない. いつでも来室可）		
教 科 書	大学土木 水環境工学（ISBN-13：978-4274215254）		
補 助 教 科 書 等	公害防止管理者試験 水質関係 攻略問題集（ISBN-13：978-4873619972）		
参 考 図 書			
プログラム目標			
達 成 目 標（合 格 点）		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
公害防止管理者 3 種試験について，学修計画にそって学習し各試験に合格する.		公害防止管理者 3 種試験に合格した者について，評定「A」を認定する（100%）.	
履 修 上 の 注 意		・学修計画を作成し，窓口教員の指示・指導を受けること。 ・公害防止管理者 3 種試験が実施されるまでに計画的に指定された時間数の自学自習をすること。 ・単位数×30時間以上自学自習が必要である。	
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・学修計画の作成		・ 窓口教員の指示・指導を受け学修計画を作成する.	
・自学自習		・ 公害防止管理者 3 種試験について，指定された時間数の自学自習を行う.（時間数は認定される単位数による.）	
・まとめ		・まとめ	
成績の算出方法	各種検定/資格試験に合格した者について，評定「A」を認定する（100%）		

授 業 科 目	特別学修（公害防止管理者 4 種）		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	選択・1単位
受 講 年 科 ・ 学 期	1～5 年通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	公害 水環境 排水処理		
関 連 科 目	水環境工学 上下水道工学		
担 当 教 員	上村繁樹		
連絡先(オフィス・アワー)	uemura@wangan. c. kisarazu. ac. jp（オフィスアワーは特に定めない. いつでも来室可）		
教 科 書	大学土木 水環境工学（ISBN-13：978-4274215254）		
補 助 教 科 書 等	公害防止管理者試験 水質関係 攻略問題集（ISBN-13：978-4873619972）		
参 考 図 書			
プログラム目標			
達 成 目 標（合 格 点）		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
公害防止管理者 4 種試験について，学修計画にそって学習し各試験に合格する.		公害防止管理者 4 種試験に合格した者について，評定「A」を認定する（100%）.	
履 修 上 の 注 意		・学修計画を作成し，窓口教員の指示・指導を受けること。 ・公害防止管理者 4 種試験が実施されるまでに計画的に指定された時間数の自学自習をすること。 ・単位数×30時間以上自学自習が必要である。	
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・学修計画の作成		・窓口教員の指示 ・指導を受け学修計画を作成する。	
・自学自習		・公害防止管理者 4 種試験について，指定された時間数の自学自習を行う。（時間数は認定される単位数による.）	
・まとめ		・まとめ	
成績の算出方法	各種検定/資格試験に合格した者について，評定「A」を認定する（100%）		

授 業 科 目	特別学修（環境社会検定：eco検定）		
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	区 分 ・ 単 位 数	選択・1単位
受 講 年 科 ・ 学 期	1～5 年通年	授 業 形 態	資格試験
キ ー ワ ー ド	地球環境 廃棄物 SDGs		
関 連 科 目	環境概論		
担 当 教 員	上村繁樹		
連絡先(オフィス・アワー)	uemura@wangan. c. kisarazu. ac. jp（オフィスアワーは特に定めない. いつでも来室可）		
教 科 書	環境科学入門（ISBN-10：4873619971）		
補 助 教 科 書 等	環境社会検定試験eco検定公式過去・模擬問題集（ISBN-13：978-4820728832）		
参 考 図 書			
プログラム目標			
達 成 目 標（合 格 点）		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)	
環境社会検定試験について，学修計画にそって学習し各試験に合格する.		環境社会検定試験に合格した者について，評定「A」を認定する（100%）.	
履 修 上 の 注 意	・学修計画を作成し，窓口教員の指示・指導を受けること. ・環境社会検定試験が実施されるまでに計画的に指定された時間数の自学自習をすること. ・単位数×30時間以上自学自習が必要である.		
授 業 計 画			
項 目		学 習 内 容 等	
・学修計画の作成		・窓口教員の指示・指導を受け学修計画を作成する.	
・自学自習		・環境社会検定資格試験について，指定された時間数の自学自習を行う.（時間数は認定される単位数による.）	
・まとめ		・まとめ	
成績の算出方法	各種検定/資格試験に合格した者について，評定「A」を認定する（100%）		